

平和と希望の種まいた

〔第3種郵便物認可〕

AMDAネパール子ども病院開設10年

宗教の違いを超えて、貧困にあえぐ母子に平和と希望の種をまいた日本人医師や助産師らが、試行錯誤の歳月を振り返った。【中尾卓英】

神戸でシンポジウム

「AMDA（アムダ）ネパール子ども病院」開設10年を迎え、神戸市中央区で記念シンポジウム「私達の国際協力」がこのほど開かれた。民族や

薬剤師「一歩踏み出すことで新たな自分」

助産師「出産に立ち会い感動と信頼関係」

政情不安が続く現地
に毎年赴く薬剤師の桂
木聡子さん、神戸市
は「いつもそばで見
ているよ」とメッセー
ジを送り続けること
で、病院に続くこと
こだわった道が母子に優
しいように舗装される
など、大きな変化が
現れている。一歩踏
み出すことで昨日と
違う自分に出会うこと
が出来る」と意義を話
した。

スタッフを日本に迎えた
助産師、毛利多恵子さ
ん、同氏は「妊娠、出
産に立ち会うことで共
通の感動と信頼関係を
持った。シンク・グロ
ーバリー・アクト・ロ
ーカリーの言葉通り、
身近な活動を国際協力
につなげ、妊婦に優し
い出産を普及したい」
と継続を誓った。

会場では、子ども病
院誕生の経緯を描いた
内科医、鈴記好博さん
の絵本「ありがとうね」
も販売。来年1月に増

設予定の周産期病棟の
資金カンパを呼びかけ
た。

問い合わせはAMD
A（086・284・
7730）。